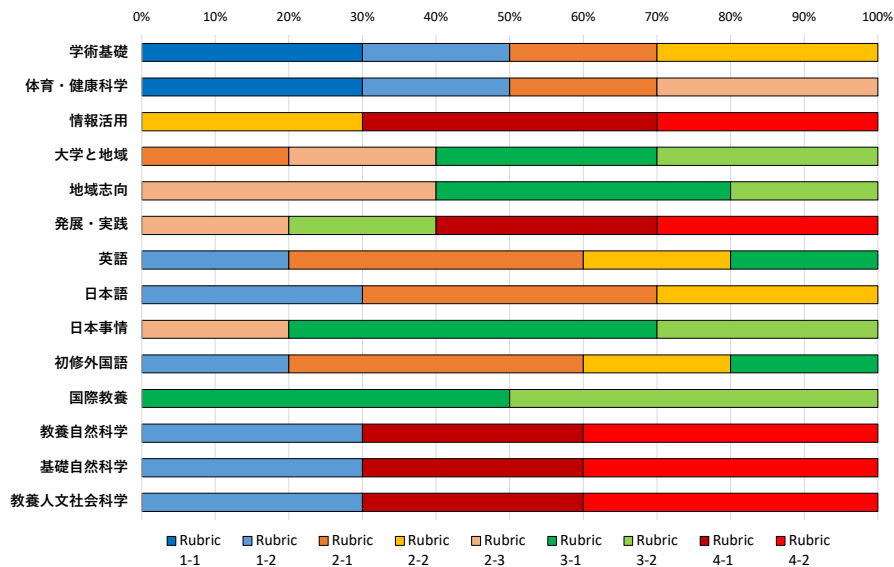


共通教育科目の基盤ルーブリックに対する関与の割合

【全学部共通】

科目分類	大分類	中分類	小分類	基盤ルーブリックに対する関与の割合（％）									
				1.自身の成長のために 学び続ける力		2.多様性を理解し、尊重した コミュニケーションをする力			3.地域／グローバル社会の 一員として責任感を持って 行動する力		4.論理的に考え、 多様な情報を活かす力		計
				Rubric 1-1	Rubric 1-2	Rubric 2-1	Rubric 2-2	Rubric 2-3	Rubric 3-1	Rubric 3-2	Rubric 4-1	Rubric 4-2	
共通教育科目	初年次教育科目群	必修	学術基礎	30%	20%	20%	30%						100%
			体育・健康科学	30%	20%	20%		30%					100%
			情報活用				30%				40%	30%	100%
	学際教育科目群	必修	大学と地域			20%		20%	30%	30%			100%
		選択必修	地域志向					40%	40%	20%			100%
			発展・実践					20%		20%	30%	30%	100%
	グローバル教育科目群	必修	英語		20%	40%	20%		20%				100%
			日本語		30%	40%	30%						100%
			日本事情					20%	50%	30%			100%
		選択必修	初修外国語		20%	40%	20%		20%				100%
		国際教養						50%	50%			100%	
	自然科学科目群	選択必修	教養自然科学		30%						30%	40%	100%
			基礎自然科学		30%						30%	40%	100%
	人文社会科学科目群	選択必修	教養人文社会科学		30%						30%	40%	100%

※1 学芸員資格科目は、各部局の卒業要件外科目であるため、ディプロマ・サプリメントの対象外とする。



基盤ルーブリック

	尺度				
	入学時	修業年限の前半修了時	卒業時（本学の目標）	発展的な目標	
1. 自身の成長のために学び続ける力	自身の成長のために学習しようという意欲がある	自身の状況を省察して課題を発見することはできる	自身の状況を省察して課題を発見し、行動を改善することができる	周囲や社会状況に対する的確な判断に基づいて自身の状況を省察して課題を発見し、自身や自身を取り巻く状況を改善することができる	Rubric 1-1
	自身の成長のために適切な学習方法で学ぶ必要があるとの認識がある	目的・目標に応じた方法で学ぶことができる	自身に必要な知識や技術を習得するために適切な方法で学ぶことができる	自ら目標を設定し、それに応じた方法で学び続けることができる	Rubric 1-2
2. 多様性を理解し、尊重したコミュニケーションをする力	相手や状況に応じたコミュニケーションの必要性を認識している	学習場面において、学生間や教員との間で適切なコミュニケーションができる	自身が置かれた状況において、相手や状況に応じたコミュニケーションができる	どのような場面においても、多様性を理解、尊重したコミュニケーションができる	Rubric 2-1
	対話や文章を通じたコミュニケーションにおける倫理の重要性を認識している	対話や文章を通じたコミュニケーションに関する倫理について説明することができる	倫理に則った対話や文章を通じたコミュニケーションができる	自身のコミュニケーションが倫理の観点から適切であるかを問い直しつつ、対話や文章を通じたコミュニケーションをより適切に行うことができる	Rubric 2-2
	他者との協働の必要性を理解し、それに関わる意欲がある	学習場面において、課題の解決のために学生間で協働できる	自分が置かれた状況を踏まえて、課題解決のために他者と協働できる	他者を尊重して協働し、多様性を活かした課題解決ができる	Rubric 2-3
3. 地域／グローバル社会の一員として責任感を持って行動する力	地域／グローバル社会の一員であるとの自覚がある	社会の一員として求められる倫理・社会的規範に基づく行動の在り方について説明したり、議論したりできる	自分が置かれた状況を踏まえて、社会の一員として倫理・社会的規範に基づいて行動できる	自身の行動が倫理・社会的規範という観点から適切であるかを問い直しつつ、責任ある行動ができる	Rubric 3-1
	地域社会の課題の解決に貢献する意義や必要性を認識している	地域社会の課題の発見や与えられた課題に対する解決策の構想・提案ができる	専門的見地から地域社会の課題を発見し、その発展に貢献し得る自らの専門性を踏まえた方策を構想、提案できる	地域社会の課題を発見し、その発展に貢献する方策を構想・提案し、解決に向けて自律的に行動できる	Rubric 3-2
4. 論理的に考え、多様な情報を活かす力	情報の多様性やそれらに対する論理的思考の意義を認識している	学習場面において、多様な情報を批判的に検証・精査しながら学ぶことができる	多様な情報を批判的に検証・精査して取捨選択し、状況に応じて活用できる	多様な情報を批判的に検証・精査し、論理的思考を通じて新たな知の創出に活用できる	Rubric 4-1
	学術的方法の修得に対する意欲がある	学習場面に応じて、適切な学術的方法について説明できる	適切な学術的方法に基づき、新たな知の探究・創出に貢献できる	既存の学術的方法を批判的に問い直し、新たな知を探究・創出できる	Rubric 4-2